YEARBOOK o-smile

2012
創刊号

安全・安心な環境を創り続けます
osumi
株式会社オオスミ

新創刊のテーマは

「人」
—ひと—

編集長！ イヤーブックってなんですか？

オオスミを支えていただいている、さまざまな方々に向けて、私たちオオスミが目指す姿や、この１年の成果を盛り込んだ新聞です。

この『o-smile』を読んでいただきたいと願うのは、私たちのお客様、未来のお客様、株式会社オオスミで働く全ての方、そしてそのご家族の方々です。ここには、私たちオオスミが目指す姿、この1年の成果などを盛り込みました。そして、『オオスミという会社はこんな仕事をしているんだ』、『オオスミってそこを目指していくんだね』、『オオスミの社員は元気なんだね』などと感じていただけると大変嬉しいです。

そして、今後は環境汚染や環境対策への取り組み、お客様から頂いたお仕事に真摯に対応している社員の姿を、少ない紙面の中で少しずつ出していけたら良いと考えております。

株式会社オオスミは、2012年11月で創業45年を迎えます。創業以来この会社を盛り立ててきた先輩たちの努力と成果と歴史を、私たちのミッション『私たちは地球に暮らす人々に「安全」と「安心」を環境面から提供し続けます』を軸に、さらに発展させ、新たな未来を開拓し続けることをこの場を借りて宣言致します。

？ オースマイルって？

o-smile は造語ですが、分解すると『o』と『smile』に分けられます。この『o』は株式会社オオスミの頭文字。『smile』は字のごとく笑顔です。O の smile、つまり私たちオオスミで働く人間は、常に心に笑顔を持っていたいと願う心からこのような名前にしました。

私たちが目指す道

私たちの持つ使命を貫きつつ、時代に合った価値観を備えて柔軟な姿勢を持つ組織（人）を作り上げたい。

この厳しい時代に問われる、私たちの使命

環境計量の業界においても非常に厳しい時代に突入したと言われ数年が経ちます。公共入札をはじめとして分析単価の下落は歯止めがきかず、目を疑いたくなるような単価で落札したという話も聞きます。ただし、社会のニーズ、お客様のニーズとして、短納期・より低価格の要望は当然のことです。私たちは、ただ単価の下落に嘆くだけではなく、様々な努力をし、品質を向上させつつ、効率を上げる努力をしなければなりません。

既存の仕事の効率を上げるとともに新規ビジネスを模索しなければなりません。これは新規引合を待つということではなく、新たな仕事を創りだすということです。企業活動の真の目的は『事業の創造』です。現状のニーズだけではなく、潜在的なニーズを見つけ出し、解決できるサービスを提供できる実力を備えた会社作りを行って参ります。

その先にある、環境ビジネスへの展開

視点を変えてみると、国内では環境汚染や深刻な公害問題に関わる対策・解決が進んでおりますが、開発途上国における環境汚染問題は今後増えると予想されます。オオスミは 50 周年を迎える 5 年後までに、国内においては測定や分析だけでなく環境コンサルティングサービス（環境部長®）等をさらに展開させるとともに、海外では現在関わったことのある19ヶ国の実績をもとに、一歩踏み込んだ海外環境ビジネスも展開したいと考えます。

YEARBOOK O-smile

イヤーブック創刊に向けて

オオスミの「スタッフ」から、近況報告が届きました！

カイゼンに挑戦！

「やってみてから考えよう」カイゼン活動は分析にも有効か？

考えるのが仕事なのに？!

当社は、4年前よりトヨタ生産方式を指導するPEC産業教育センターの山田氏の指導の下、カイゼンとムダとりで生産効率をアップさせる試みを始めた。山田氏も、製造業以外、ましてや分析業界のカイゼンは初めてだという。我々も、機械的にできるものではなく、考えながら分析を行っているという自負があった。しかしながら、分析業界においても低価格化は益々進み、少しでも生産コストを下げ、納期の短縮を図る挑戦が必要だった。

分析には人間の手と目が必要なのだ！

もちろん一般製造業と類似している面もある。しかし、明らかに違うのは、同じ分析項目であっても結果に至るプロセスが複数あり、1つの流れで完結することが難しい場合がある。また、環境分析は基本的に2度同じサンプルに出会うことはない。毎回、異なるサンプルを、如何にして簡単に、且つ円滑に分析をするのか、多くの課題が存在する。

それでもムダは沢山あった！

動線を考慮した分析機器や使用機材の配置変更、作業者が、その場で完結できるような道具の配置、次工程へ配慮した業務引渡し時の円滑化等に取り組んできた。目覚しいほどではないにしても確実に結果が出ている。
さらに、今後は分析作業効率の見える化を図り、より具体的に改善点の抽出を行なって取組んでいく。これらのカイゼンには終わりはない。今後も、引き続き業務カイゼン活動を実施して、より時代に合致した分析会社を目指したい。

製品開発にも役立つ分析

ゆあらぼ
your laboratory

環境分析のみならず、ものづくりの一役を担う「ゆあらぼ」

ものづくりのお手伝いも我が社の役割！

2009年、当社は電子顕微鏡を導入。「製造業の皆様の製品開発にも役立とう!」を合言葉に「ゆあらぼ」サービスを開始。既存のお客様のみならず、500社以上の企業様に直接ご紹介開始！しかし、お客様の反応はいまひとつ。サービスの内容がうまく伝わらない。歯がゆさだけが増していった。

お客様の困りごとを解決せよ！

「何かお困りごとはないですか？」そう尋ねることで「ゆあらぼ」がお役に立てるケースが見えてきた。秘匿性の高い開発商品やクレーム対応の原因究明を、単に委託するだけでなくお客様立会いのもと解明でき、時間とコストの圧縮も可能であることを、お客様から教えて頂いた。

かわさき起業家賞他３賞を受賞！

2010年第65回かわさき起業家オーディションにて発表。その取組みが評価され多くの賞を戴くことが出来た。受賞が目的だった訳じゃない！もっとお客様のお役に立ちたいと実感、営業活動にも拍車がかかった。

お客様の喜びの声が「大好物」！

「急いでいたので助かった」「ここまで詳しく解明できるとは」そんな声が増えてきた。水や土などの分析が主である我々が、製造段階からお役に立っている。日本のものづくりを応援できる。今では製造業のみならず、建設業の皆様にもご愛用いただいている、共に開発研究を行う新サービス「こらぼ」も展開開始。喜びの声をもっといただけるようサービス向上に努めたい。

土壌汚染調査技術管理者試験への挑戦

なぜ、オオスミは全国平均の5倍以上の合格率を出すことができたのか！

まずモチベーションを上げること

技術管理者試験の出題分野は、調査や対策等の技術的事項から関連法令まで多岐にわたり、幅広い知識が求められる。そのため、業務の傍らでの勉強は本人のやる気がないと、ただ受験するだけという結果になることは目に見えている。

個人の成長なくして企業の成長なし

当社は土壌汚染に対しては、計画から調査、対策に至る幅広い知識を有し、お客様をサポートしていくことを目指している。この大きな目標に対しては個人のスキルアップが不可欠であり、エンジニアとして高いステージを目標にしてもらわなければならない。「会社の為に資格を取るのではなく、自分の為に知識を吸収し、その過程に資格試験がある。」との考え方で土壌汚染調査技術管理者試験を個人目標に位置づけた。

例外なく全員受験しよう！

経験豊富な者や少ない者、組織上の序列も関係なく全員が挑戦することに決めた。グループの決定とした。部内が自然と切磋琢磨する空気になり、これらが、全国平均合格率10.8％に対し、58.3％という高い合格率を叩き出した理由ではないかと思う。
環境分野は次々と法整備がなされ、その都度幅広い知識が求められる。求められる知識が多くなれば、その知識の熟度を評価するための資格試験ができると考えると、これからも個々の技術力の向上を目指し、これらの試験に臨んでいきたい。

ついに悲願の優勝！！

オオスミソフトボールチームがこの秋、悲願の［ハマふれんど杯］優勝を決めた！

２回戦を突破せよ！

ソフトボールや野球の経験者、未経験者が有志で練習や交流試合をしたところから始まったオオスミソフトボールチーム。2012年秋ハマふれんど（横浜市勤労者福祉共済）ソフトボール大会で悲願の優勝をすることができた！この大会は横浜市内32チームが参加する歴史ある大会。これまでの大会では２試合目がいつも壁となって乗り越えることができなかった。今大会は２回戦突破を目標として、暑い日も、寒い日も練習してきた。

人数を揃えることも戦いのうち

実はチームのメンバーはぎりぎりの人数で、誰かが仕事で出られなくなると試合に参加できない恐れもあった。今回は幸い、メンバーも欠けることなく、目標としていた２回戦も突破することができた。そして、勝ちあがり迎えた決勝戦は、前半リードしながらも、後半じわじわ追いかけられる展開。特に最終回は生きた心地がしない守備だったが、1点差で逃げ切り優勝することができた。
人数もギリギリ、練習時間もままならない中、各自が手を抜かずに全力でプレーし、自分の力を発揮できたことが勝利につながったと思う。これをチームの誇りとし、今後も皆で楽しみながら良い成績を残せるように頑張りたいと思う。

オオスミの社員は、さまざまな現場で働いています。環境の仕事といっても、まったく別の職種に思える作業も少なくありません。そんな社員の近況をご紹介しましょう。

東北で頑張っています！

無人の家々は避難時のままで、まるでストップウオッチで止められたような光景だった。

前例がない業務だった

放射線とは何？どの機材を選定したら良いのか？安全管理はどのようなことをすれば良い？何もかも初めてづくし、国からの情報を集めながら同業者との連携をとり、勉強を重ねつつ、オオスミの東北での環境測定業務が始まった。放射能汚染物処理の実証試験現場での測定業務は、何もかも初めての経験。いつもの手順で進めようとするが防塵マスク、防護眼鏡、何枚も重ねた手袋、防護服で思うように体が動かない。そして春からは放射能除染に伴う事前調査。

もう一度人が住めることを祈りながら

無人の家々は、避難された時の状態のまま、まるでそこで風景が切り取られたようだった。
福島県内某町、村の道路、農地などの放射能濃度をくまなく調べ、除染前のデータベースを作ることで、今後の除染の効果が数字で表れる。3月の業務開始時は残雪の中作業だったが、5月になると雑草が農地を埋め尽くし、測定は困難を極める。そんな中、うり坊、野良猫、キジなどが駆けずり回っているのを見かけ、ほっとすると共にこれからの生態系への影響も考えさせられた。

正確なデータをお客さまのもとへ

数ヶ月間、毎日数人同部屋での宿泊でほっとする間も取れず、決して楽な仕事ではないが、現地の方々、避難地にいる方々の無念な気持ちを思い、我々の地道な作業から成る正確なデータを必要とするお客様のことを思い、日々頑張っている。

日本の環境技術を海外へ

戦況下のシリア、一緒に大気の測定や河川の水質サンプリングを行った彼らは今、どうしているのだろう？

日本の昔は海外の今？

日本は昭和40年代の公害の時代を経験して公害から環境へ変わってきたが、世界には今その公害を経験している国々もある。政府のＯＤＡを使った環境技術教育プログラムなどにより当社もそういった国々のお手伝いをさせていただいている。その国独自の文化とやり方があり、それを尊重しつつ進めていく必要がある。

価値観が大きく違っても望む環境は同じ

例えばシリアはイスラム教の国。プログラムを進めるにもラマダン（断食月）や祈りの時間を考慮する必要がある。サンプリングにしてもチャドルをまとった女性にできるだろうかと悩んだ。インドでは当然ながら毎日三食カレー。胃袋が参った社員もいた。それでも、日々一緒に過ごしていると気心が知れてくる。

平和と安心が私たちの願い

帰国後も関わった国のニュースは気になる。半年、一年間一緒に過ごした現地のメンバーの顔が浮かんでくる。シリアの戦乱が早く解決し、また訪問し、環境計測のお手伝いができることを心から願う。

分析の流れを、人の動きで見てみよう

分析する「人」は、どのように仕事をしてるの？

分析には、沢山の工程や人がかかわるので、決してミスのないように工夫をしています。

START

まずは、お客さんの電話対応。
毎日、元気で、笑顔！

どのような状況でも、
正確なサンプリング。

大切な試料の運搬。

指示書と照合して、
試料の確認。

試料の状態や分析方法をさらに確認して分析工程へ。

さまざまな機器で正確に分析。

分析データをもとに、
報告書作成。

GOAL!

どんなに優秀な機器が揃っていても、最終的にお客さまに喜んでいただける品質は「人」の力。
社員一人ひとりの真摯な姿勢を大事にします。

無事、納品！

YEARBOOK O-smile

数字で知る オオスミって、こんな会社！

環境資格保有者数は 82 名

362 件 延べ保有資格数

40 社 創業初年度お取引社数

感謝です！ **3,853 社** 2012 年度 お取引社数

19 ケ国 海外取引数

11.1 創立記念日！

この日は計量記念日でもあります

36,961 件 年間検体数

360 円 仕出し弁当

ついに完歩！ **100 キロ** 社長完歩！つくばウォーキング大会 記録23時間12分9秒

決意！ **33 歳** 初代社長の創業時の年齢

3 時間 57 分 フルマラソン社内最速タイム

真夜中増えるとか…？ **127 段** 社内階段

夏の節電対策です **22 台** 扇風機購入数

25 勝 ソフトボール大会の勝利数

108 人 社員数

煩悩の数…ではありません

41 歳 平均年齢

アラフォーです

33 人 自転車通勤

2,305 歩 最寄り駅からの歩数

汗！ **742 件** 1日のメール受信数

まだまだできる！ **16%** 節電割合（2010 年比）

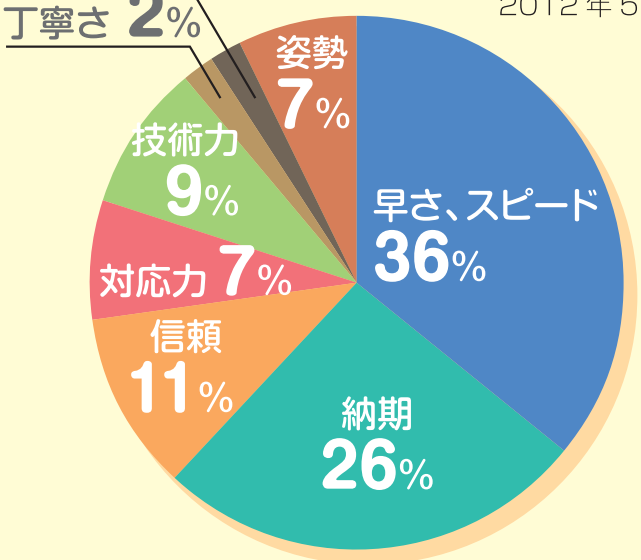
12 種 本社入口の花の種類

51 件 ある営業が一日に受けた電話

アンケート vol.1

社員が聞いた お客さまの評価

2012 年 5 月



スピード感が高評価をいただきました！

社員が各担当のお客さまの評価を集め、アンケート方式で集計し、グラフ化しました。
多くのお客さまが「オオスミの強み」として、仕事を依頼したり、相談した時の、対応の早さをあげてくださいました。また、分析にかかる納期の速さや、納期を守るといったことも評価をいただきました。
また「信頼」という目に見えない大きな評価もいただきました。私たちは、お客さまの評価を裏切ることなく、日々の積み重ねを一層大切にしていきます。

編集後記

デジタルは１と０しかないと言われるが実際は違う。電圧変化にかかる時間が短いのでそう見えるだけ。ＩＴ化が進んだ現代も実はアナログで構成されている。装置や技術が進んだからこそオオスミは『人』と『笑顔』の力も大事にしたい。そんな思いで創刊しました。（編集 T.O.）

学級新聞ではなく見せる情報発信ツールにしよう！言うは易く行うは難し。できかけた所で「全部潰して０から作り直そう」との無情な編集長の命令（笑）に泣きながら作った誌面。やり直して絶対ヨカッタ！（編集 N.S.）

イヤーブック製作に関わり、自社を見つめ直すきっかけとなった。お客様に当社を更に深く知って頂くこと、更に、我々は、個の「人」で成立っていて、その力を集結させ、お客様に、価値を認めて頂くこと事を目標に進んで行きたいと思います。（編集 T.W.）

一人ひとりの魅力をお伝えするにはいたりませんでしたが、会社の雰囲気は伝えられたのではと思います。このイヤーブックがひとりでも多くの人の手に渡り、読まれることを祈っています。（編集 K.A.）

ここまで読んでいただきありがとうございます。私たちの思いや知っていただきたいことが、皆様にきちんと伝わるよう心がけてつくりました。それにしても、日本語の表現は人それぞれですね。今回改めて実感しました。（編集 R.M）

2012 Osumi co.,Ltd.All Rights Reserved.

2012.11.15 vol.1 3,000